



みささ

第141号

令和7(2025)年

議会だより

4月号



大家族シリーズ

家族のモットー

101才から3才まで

四世代それぞれのびのび楽しく

松原さん家族(山田)

主な内容

- 令和7年度予算の特徴 2~3
- 3月定例会・一般会計予算を可決 4~5
- 常任委員会で慎重審査 6~7
- 議員4人が一般質問 8~12
- 議案の賛否 13
- 大好きみささ町 14

地方創生に向け 重点的に取り組む予算編成

「地方創生2.0の基本的な考え方」を受け、「若者・女性に選ばれる地域づくり」「誰もが安心して住み続けられるふるさとづくり」を念頭に取り組む。

ここに注目!

重点となる4本柱

○温泉を活用した健康まちづくり事業の実現 (1億775万円)

温泉を活用した健康まちづくり事業基本計画を踏まえ、世界屈指のラドン温泉を活用した町民の健康増進を図る。温泉効果等の知識普及や町民等の運動・スポーツ習慣化促進事業を継続して進めていきながら、町民が気軽に利用できる入浴等施設などの整備に向けて手続きを進めていく。



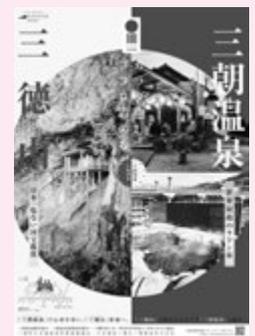
入浴等施設建設予定地
(スポーツセンター東側)

○旧三朝小学校を活用した新しい拠点づくり (1,070万円)

旧三朝小学校校舎利活用基本構想をもとに、人々が交流し活動するまちづくりの拠点として整備をする。旧校舎の1階部分は、先行して学童クラブが利用しているが、令和7年度から地域活動の場として利用しつつ、今後の旧校舎全体の利活用に向けて、基本設計や環境整備を進めていく。

○日本遺産三徳山・三朝温泉を前面に出した観光戦略 (1,870万円)

日本遺産重点支援地域に認定されたことを受け、更なる誘客促進に向けて、情報発信、文化観光イベントを実施し、日本遺産の活用促進や保存活動を支援し、町全体の観光振興・地域振興を図る。



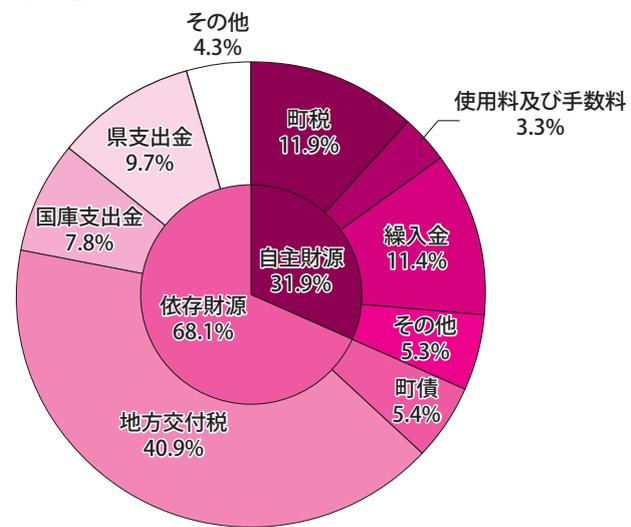
日本遺産
「三徳山 三朝温泉」

○急速に進化するデジタル・新技術の活用 (4,949万円)

デジタル技術を活用した行政運営の効率化・地域の課題解決に向け、情報システムを充実させ、町民の利便性の向上に資する。また、外部のDX専門人材を活用し、行政サービスの更なる向上を目指す。

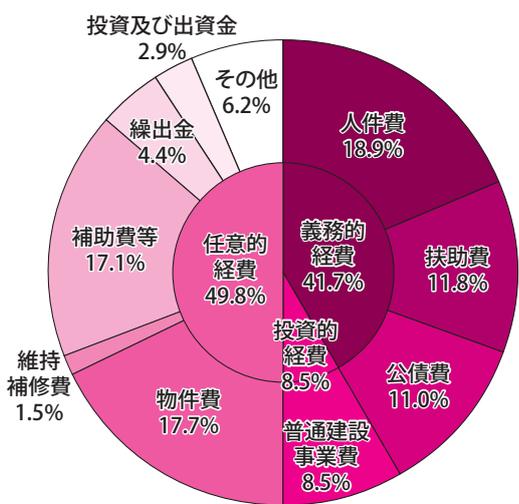
当初予算 59億1,000万円 当初予算は前年比12.1%減

【歳入】



区分	歳入内訳	(万円)
自主財源	町税	70,054
	使用料及び手数料	19,481
	繰入金	67,508
	その他	31,213
依存財源	町債	31,710
	地方交付税	242,000
	国庫支出金	46,231
	県支出金	57,264
	その他	25,539

【歳出】



区分	歳出内訳	(万円)
義務的経費	人件費	111,464
	扶助費	69,962
	公債費	65,169
投資的経費	普通建設事業費	49,936
任意的経費	物件費	104,373
	維持補修費	9,091
	補助費等	100,843
	繰出金	26,161
	投資及び出資金	17,349
	その他	36,652

あなたの声が
町政の力になる!!

選挙期日が決定!!

三朝町長及び三朝町議会議員の任期満了を迎えることに伴い、三朝町選挙管理委員会が令和7年2月28日に開催され、次のように選挙の期日が決まりました。

【三朝町議会議員一般選挙及び三朝町長選挙】

選挙期日の告示：令和7年10月21日（火）

選挙の期日：令和7年10月26日（日）

令和7年度 一般会計予算を可決

一般会計予算審査特別委員会報告

3月17日に一般会計予算審査特別委員会（能見貞明委員長ほか委員4名）を開催。令和7年度一般会計予算で各常任委員会において審査した内容のうち、特に気になる事業について細かく審査しました。その結果、すべてを原案どおり可決すべきと決定しました。

防災公園 10万円 子ども公園 10万円

意見

防災公園と子ども公園には共通する場所があると思われる。目的・機能など考慮し、相互に連携・協議しながら一体的整備を考えるべきでは。

回答

（危機管理局）

防災公園は、大規模災害時に避難場所、平時には誰でも使える公園・広場として利用できるよう検討している。子ども公園とは目的が異なるので、一体的な整備は難しいが、相互連携できる部分は共有し計画策定につなげたい。

（町民課）

公園としての大きな目的が違っている。機能・設備等の協力できる部分はあるので、情報共有しながら進めたい。子ども公園は、温泉を活用した健康まちづくりの入浴等施設と同じ敷地にすることも提案している。

乳児期子育て応援事業 39万円 妊婦のための支給給付事業 200万円

意見

少子化への対応は町の大きな課題である。各部署（児童福祉・母子保健・教育）で取り組んでいるが、町として全体をまとめた計画・調整が必要では。

回答

総合計画を第1とし、地方創生総合戦略、子ども計画といった様々な子育てに関わる計画があり、それらを総括した計画もある。各課との連携・調整は、各事業の進捗管理や予算編成時の協議等を通じて行っている。

情報化対策費DX推進事業 4,949万円

意見

システムの維持管理に莫大な経費がかかっている。担当課が個々に導入を進めるのではなく、DX担当部署が全体を把握し、連携できる体制が必要と思われる。

回答

各課がシステムを導入する際には、DX担当と協議・相談を行っているが、全体の経費に関しては把握できていない。現在、システム経費の実態把握を進めている。県の「DX専門人材派遣事業」を活用し、庁内で連携できる体制づくりを進めたい。

三朝温泉活用健康プロジェクト事業 9,200万円

意見

アプリケーションはどのような内容・仕組みのものを開発しようと考えているのか。

回答

三朝温泉病院、高齢者総合医療センターと連携し、具体的な健康プログラムの作成に取り組む。そのプログラムを実践するために、ウェアラブル端末を身に着け、運動・睡眠等の体の状態を数値で把握する機能を持たせ、健康を管理するアプリを開発していきたい。



温泉運動浴

現年発生災害復旧事業費 7,663万円

意見

過年度の災害により、被害を受けた町道等で未対応、確認漏れがあるが対応はどうか。

回答

(建設水道課)

確認漏れなどによって未対応の箇所がある場合、再度現地調査を行い、その規模等に併せて対応していきたい。

(農林課)

建設水道課と連携を取って進捗状況の把握、実施できない部分は早期での周知徹底を心がけたい。

特産品振興事業 185万円

意見

具体的な取組が分かりにくい。成果が出ているのは三朝神倉大豆だけで、支援制度があっても所得向上につながっていないのが現状。生産者が増えるような、かさ上げ補助・支援が必要では。

回答

農業再生協議会で神倉大豆を重要品目とし、水田の直接支払交付金での戦略作物助成や産地交付金を高くしている。普及所・JAとの連携で、負担軽減につながる生産手法等を探りながら底上げの支援をしていきたい。

水田農業サポート事業 600万円

意見

グリーンサービスでは現在、牧草生産が主体となっている。米作りが減少している中、牧草より米作りに重点を置いては、ライスセンターの使用も減少し、将来的にライスセンターの運営も困難になるのでは。

回答

グリーンサービスとしては、安定した収入が見込める飼料作物の割合を増やし、経営の健全化を目指している。ライスセンターは、JAも概算金を高くし、生産者に全量出荷を呼びかけている。

災害時における支え愛 地域づくり推進事業 10万円

意見

支え愛マップづくりは社会福祉協議会が行っているが、危機管理局・福祉課の立場での考え方は、三者での共通理解はなされているか。

回答

(危機管理局)

防災と福祉の連携という認識である。声かけが必要な方、支援ができる方を記載して情報共有するもので、危険が伴う状況下での避難指導等を求めているものではない。

(福祉課)

災害時・緊急時に役立つもので、見守り活動、困りごとといった日頃の支え合い活動につながるものと捉えている。三者が共通理解のもと事業を進めているという認識である。



支え愛マップづくり

中山間地域等直接支払交付金事業 6,582万円

意見

中山間地域直接支払協定の見直しの年である。農家負担を軽減し、多くの集落の取組を進めるため、加算事業（スマート農業加算など）等の説明を積極的に行うべきでは。

回答

昨年11月、新制度の概要について説明会を行った。現時点では国からの要綱等が届いていない状況にある。要綱が判明したうえで説明会を行い、集落要望があれば個別での説明も考えている。

常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

マイナンバーカードの申請状況

問 現在の保有率はどの程度になっているのか。また、役場窓口だけでなく施設などに行くなどして普及拡大を図るべきではないか。

答 今年1月末現在で80%になっている。昨年11月には町外の福祉施設に出向き申請受付を行った。今後も町内外問わず福祉施設等に声掛けしながら出張申請を受付けていきたい。

小学校跡地活用事業

問 旧三朝小学校校舎をまちづくり拠点施設として活用する計画であるが、令和7年度予算の中に外壁を綺麗にしたり、内装整備するような予算は上がっているのか。

答 主に基本設計予算を計上している。1階から3階まで一斉にフルオープンすることはできないので、年次計画をもって必要があれば施設整備を進めたい。



旧三朝小学校校舎

三朝町行政改革推進プラン

問 本町が単独町政を選択して以来「自立に向けた行動計画」に基づいて活動してきたが、これとの関係はどうなのか。

答 社会情勢、経済情勢も大きく変化しており自立に向けた行動計画は一定の役割を終えたと考えている。4月から今後5年間の行政運営の指針として新たな行革プランを策定するもの。

防犯機器購入補助金

問 県が実施している事業と同じものか。また、対象者の制限はあるのか。

答 令和7年度から申請先が町になる。対象者は、世帯の中に60歳以上の方がいれば良いが、既に県事業の補助金を受けている方は対象外となる。

地域プロジェクトマネージャー事業

問 国の事業を活用して空き家対策と移住分野に特化した人材を配置することだが、どのような人材を想定しているのか。

答 事業に精通し、町内の関係団体等とも人脈がある方を求めている。地域おこし協力隊OBも候補の一人として考えている。

名勝史跡等総合活用整備事業

問 遥拝所から投入堂の眺めを良くするために支障木を伐採するものだが、土地所有者はどこになるのか。また風景になじむ伐採方法を考えているのか。

答 土地は町有地である。支障木の切り方については、木の上部だけを切る芯切工法となるが、一部標高の低い部分は根本からの伐採を予定している。



投入堂遥拝所から眺める風景

産業民生常任委員会

新源泉調査業務

問 源泉の調査は、入浴等施設を作るのに、湯量が足りていないので新しい源泉を探すために行うのか。

答 使っていない源泉もあり、湯量は、充分あるが、今使っている源泉が出なくなったり、詰まったりすると、旅館に配湯している温泉が不足してしまうため、事前に新しい源泉の候補地を調査するものである。

三朝米振興プロジェクトの加工品

問 加工品開発はどこに依頼して試作しているのか。

答 給食で提供しているチュロス、米粉で作る麺の加工品を作ってきた実績を踏まえ、特選三朝米ブランド協議会が、加工品開発の試作を行う。

町災害復旧工事

問 災害復旧の工期が決まっているのに、着工していない場所があるが、担当課はどのように考えているのか。

答 進捗状況の管理を含め、遅延の詳細な理由を、業者と確認しながら進めていきたい。

問 工事業者不足、人手不足についてはどうか。

答 工事業者、人手不足は慢性的に続いている。工事件数が多いため、業者に発注する段階で、ある程度、長い工期の中でやりくりしてもらえらるよう、施工の仕方を考えていたが、人手不足は解消されていない。



災害復旧工事（曹原寺）

ふるさと納税

問 ふるさと納税の寄附額と、それにかかる経費は。

答 令和6年度（令和7年2月末現在の）寄附額は1億2660万円。返礼品事務費などを含む経費は、寄附額の半分の6300万円程度である。



ふるさと納税パンフレット

三朝温泉街の街灯のLED化

問 街灯でLED化されていないものは100基程度あるが、補助金はあるのか。

答 今の電球は製造中止になり、なくなれば電球自体、手に入らなくなる。今回の財源は脱炭素化推進事業債を9割充てている。

子ども公園構想

問 危機管理局が検討している防災公園と子ども公園には共通する所があると思うが。

答 情報を共有しながら、連携を図り進めていく。

問 健康むらを有効活用できないのか。

答 健康むらは、グラウンドゴルフ場として広く使われている。同施設内の子ども広場は水はけが良くないこともあり遊具を置いて管理するには課題がある。飲食スペースや温泉など、子育て世代の求める公園像に近づけることができるよう構想をしている。状況を考えながら進めていきたい。



一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

あなたの声を 町政に

4人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
9	1 三朝神倉大豆の振興について 2 地方創生2.0の取組みに向けて	小椋 泰志
10	1 鳥獣被害の対策強化について 2 大阪・関西万博の見学支援について	松原 成利
11	1 埼玉県の下水道事故をわが町の教訓に 2 日本遺産の再認定について	山口 博
12	1 小中学校でのフッ化物洗口と町民のむし歯予防	吉村美穂子

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。
(10:00～、18:00～)



小椋 泰志 議員

特産品

問 三朝神倉大豆の振興について

答 生産拡大、品質向上、商品化・販売促進に努めていく

三朝温泉のお土産として大豆商品の開発を

小椋

インフラボン含有量が一般大豆の約2倍多いとされる町特産の三朝神倉大豆の消費拡大のため、三朝温泉の宿泊観光客のお土産として大豆の素材を生かした新たな定番商品を開発してはどうか。

町長

豆腐や納豆といった神シリーズ製品に加え、最近では味噌の海外進出や菓子メーカーとのコラボ商品がでるなど販路の拡大が進んでいる。今後は、旅館にも商品として置いていただけるようなパッケージ

ケージの工夫をするなど、お土産を製造する民間企業などと連携しながら付加価値の高い商品開発につなげていきたい。

大豆の生産拡大のための支援策が必要では

小椋

作付面積や生産農家も近年は横ばい状態が続いている。一層の生産拡大を目指すためには何らかの支援策が必要ではないか。

町長

これまでも産地交付金の中で三朝神倉大豆は優遇して単価を設定してきている。また安定して収量を確保することも大切なので、除草対策としての助成事業も継続していく。

品質向上に向けて指導助言体制の充実を

小椋

連作障害やアサガオなどの

雑草により品質低下を招いている。品質向上に向けてJAや普及所の指導助言体制の一層の充実が必要ではないか。

町長

JAや普及所の栽培指導や助言は不可欠である。引き続き生産体制の強化支援を進めていきたい。



三朝神倉大豆を使った商品

地方創生

問 地方創生2・0の取組み

で地域資源の活用を

答 温泉を活用した健康まちづくりを進めていく

地域資源である温泉と観光を生かした地域活性化を

した健康づくりを提案していきたい。

小椋

地方創生2・0の取組みとして地域資源を最大限活用した高付加価値型の産業、事業の創出が求められている。これまでの温泉街の振興や観光客誘致などに加え、計画されている温泉を活用した健康まちづくり事業の入浴等施設をきっかけに新しい健康関連事業を生み出せないか。

町長

温泉資源の活用については医療・介護予防や健康づくり並びに休養・娯楽といった分野をうまく連携させて磨きあげていきたい。関係者と議論を重ねながら三朝町の新しいイメージとして、温泉を活用

中部環状道路整備構想の推進

小椋

本町を含めた中部圏域に環状道路を整備する構想がある。人の交流や物流効率の向上、企業立地の促進など地域経済の活性化が期待される。中部の市町と連携して取り組んでほしい。

町長

中部の議員連盟で積極的に取り組んでいただいている。中部の首長もそういった認識をもっているので一緒になって進め努力していきたい。



松原 成利 議員

鳥獣対策

問 鳥獣被害の対策強化について

答 侵入防止、個体数減に連携し推進

鳥獣被害の対策強化検討を

近年の鳥獣被害は重症化の様子で、如何に進入を防ぐか、対策強化を改めて検討する必要があります。

町長

令和6年捕獲頭数は猪706頭で横ばい、鹿は204頭から1322頭に激増し農作物以外に施設被害も多発。生産者の意欲減退も大きく、侵入防止や個体数を減らす対策が必要である。

補修・強化の支援要件緩和を

老朽化したワイヤーメッシュや電気柵等は、補修・強化に係る経費支援の要件緩和で防護力を強化すべき。

町長

補助率2分の1で集落からの修繕要望のほとんどに対応している。経済面や困りごとを確認しつつ補助要件を考えたい。

講習会や現地学習で即戦力体制を

防護柵等の設置や補修に関する講習会・講演会や現地学習会を増やし、より身に着き即戦力となる体制整備を行うべき。

町長

学習機会は大事で、町や関係機関の講習会案内を一層提供したい。県の研修会には3集落の参加があった。

国や県からの情報収集と周知を

鳥獣被害対策事業においては、必要な箇所に必要な対応が取れるよう国や県からの情報収集と周知に今更以上に努めるべき。

町長

毎年8月に次年度の設置要望を取りまとめているが、随時相談受付と国県の紹介等、機会を逃さず集落と連携を密にして取り組むたい。



猪が侵入し収穫できなくなった水田

町民福利

問 大阪・関西万博の見学支援について

答 情報提供に努めるが費用支援は難しい

各種情報や見学プラン等の提供を

松原

4月13日から半年間開催される大阪・関西万博は過去の考え方と異なり、原則は公共交通機関の利用、周辺に駐車場はないとのこと、旅行会社のツアー・広告等があるが山陰方面からのツアーの情報が少ない。町として各種情報や具体的見学プラン等の提供ができないか。

高額になる費用支援ができないか

松原

入場チケットは前売りでクレジットカード払い、入場日は予約が基本、交通費も高額となるが、申請等を受付けて何らかの補助ができないか。

町長

他にはない未知の体験が潜んでいる万博と思うと入場料金は飛び抜け高額とはいえず、支援は非常に難しい。

町長

近づくにつれて不便さも改善されつつあり国県と連携し情報提供に努める。中部1市4町も7月15日から21日にキャンペーンや催物ステージを行う。



山口 博 議員

インフラ

問 町内の下水道は安全か

答 主要下水道の緊急点検を実施

埼玉県八潮市の下水道事故を受けて町内の対応は

山口

埼玉県の下水道事故を受けて三朝町の下水道は大丈夫かと感じた町民の方は多かったと思う。この事故を受けて町内ではどのような対応がなされたか。

町長

今回の埼玉県の事故を受けて三朝町では2月までに主要な26・7キロメートルを地上からの目視、舗装面打音調査を実施し、異常のないことを確認した。調査結果は町のホームページに掲載している。

三朝町下水道の現状と万が一の事故対応は

山口

三朝町の下水道の全体像と現在の維持状況がどのようになっているのか、町民に知らせて欲しい。万が一の事故対応は。

町長

三朝町の下水道は昭和56年度から始まり、44年が経過し、補強の必要な管路については現在工事を進めている。万が一の事故に対しては埼玉県のような大規模な形ではないが、同じようなバイパス工事で対応することになる。



下水道緊急点検

光 観

問 日本遺産の高評価再認定に応える取組を

答 指摘課題を解消し期待に応えたい

高評価で再認定を受けた感想は

山口

今回高評価で再認定の感想と高評価理由は何か。

町長

令和3年度の再審査後の様々な取組が評価されて今回の認定継続となり、さらには重点支援地域となったことは素直につれしく思う。

高評価への期待に応える取組を期待

山口

高評価での再認定は三徳山・三朝温泉への期待値でもある。これに応える取組が重要である。

町長

高い評価を得たが、課題として三朝温泉宿泊客を三徳山へ誘導する仕組みづくり、インバウンドへの対応遅れなどの指摘も受けており、これらも含めて多様に対応を進めていき、期待に応えたい。

組はどのように考えているのか。

町長

地域に温度差があることはやむを得ないと考えており、温度差解消はこれまでの取組の延長線上で進めていきたい。地域振興は三朝町全体の目標であり、日本遺産を含め、地域の食材、人材など色々活かして、幅広く関わりを持って取り組んでいきたい。

町内地域温度差の解消策と地域振興策は

山口

日本遺産に関して町内でも温度差があるが、これらの解消策と地域振興策の取

問 小中学校でもフッ化物洗口を

答 むし歯罹患率が低いので実施する予定はない



吉村美穂子 議員

吉村

青少年から高齢者の口腔ケアは

本町における40歳から74歳までの人で、何でも噛める人は、国79.3%、県76.8%に対し74.5%。80歳で20本以上の歯のある人は、国51.6%、県50.5%に対し36%と全国、県と比較すると低い。人生100年時代に向かうにあたり、自分の歯でしっかり噛めることは、認知症予防、歯周病や糖尿病をはじめとする生活習慣病予防にもつながる。町民のむし歯予防についてどのように考えているのか。

町長

歯科保健事業の中で、学習会、講演会、広報を通して、口腔ケアと、健康について学習の機会を提供しているが、検査結果を見ると、成果につながっていない状況である。幅広い年齢層の皆さんに若い世代から口腔ケアに対する関心を持ってもらえるよう働きかけていきたい。

吉村

小中学校のフッ化物洗口はむし歯予防に有効

みささこども園、賀茂保育園で行われているフッ化物洗口の習慣を小中学校でも行うことで、萌出期におけるむし歯予防につながると思う。

教育長

小中学校では歯磨き指導が十分なされ、むし歯罹患率が低い。令和4年度現在、フッ化物洗口を、行っている

る学校は、19市町村中4市町村となっている。学校の業務改善が行われている真っ只中であり、その緊急性、重要性を高く認識していないと考える。

本町の学校教育において、むし歯と歯周疾患の予防習慣として、歯磨きの定着が最善策と考えている。家庭への理解、啓発、医療関係者との連携に重点を置き、歯と口腔の健康づくりに取り組んでいきたい。

吉村

家庭における歯磨き指導は重要だが、家庭環境によって健康格差が生じる可能性があるため、学校で行うフッ化物洗口は、よりむし歯予防に有効だと思う。

教育長

家庭による差は大きいと思うので、家庭の応援についてどのような方法を取るのかは今後の課題である。

吉村

フッ化物洗口を6年以上実施した市町村では、実施しなかった市町村と比べ、10歳から14歳1人当たりの歯科医療費が、約半分だった。子ども1人当たり年500円から600円の負担なので経済的効果が期待できる。

フッ化物洗口とは

フッ化物水溶液を用いてブクブクすることでもし歯を予防する方法。萌出直後の歯に効果が得られる。



フッ化物洗口（みささこども園）

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎	
(3月定例会)													
町長提出議案名													
1	令和7年度三朝町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2 ～ 8	令和7年度三朝町特別会計・事業会計予算（7件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	三朝町個人情報の保護に関する法律施行条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	三朝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	三朝町職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	三朝町職員等の旅費に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	三朝町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	三朝町ふるさと健康むらの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	三朝町総合スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	三朝温泉多目的駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（加茂川河川災害復旧工事（5年災451号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（町道実光神倉線道路災害復旧工事（5年災462号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（町道栢谷鉛山線道路災害復旧工事（5年災469号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	令和6年度三朝町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23 ～ 28	令和6年度三朝町特別会計・事業会計補正予算（6件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案名													
議1	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議2	三朝町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。
 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情	伊藤 豪	不採択	既に議会だよりやホームページで公開しており、適正に情報提供ができています。
市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	伊藤 豪	不採択	社会の状況や犯罪件数等の数値を調査し公表することは、小さな自治体では個人情報保護の観点からも難しい。また、その数値を地域の良し悪しの判断基準にすることは適切ではない。
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合	不採択	都市部と地方では経済状況等に大きな差があり、最低賃金の引き上げは必要だが、最低賃金の全国一律制度化は現実的には不可能。
石破茂政権が、「パーティー券の購入も含めた裏金作りの方法とその用途を明らかにすること」ならびに「パーティー券の購入も含めた企業・団体献金を今度こそ禁止する法律を作ること」を求める「意見書」提出の陳情書	三朝革新懇	趣旨採択	現在、国会で用途の明確化や法の整備等を含めて協議・検討されているため、その経過を見守る時期と判断。
操縦士の飲酒運転の防止など航空安全のための対策を求める意見書について（陳情）	足羽 佑太	趣旨採択	飲酒運転の禁止は、法で定められ遵守すべき内容である。それぞれの組織、企業等が徹底していくべき問題である。
国産食料の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める陳情	鳥取県農民運動連合会	趣旨採択	食料自給率の向上は必要。学校給食の無償化は、国で具体的に検討が進められている。米は物価の変動に合わせた価格設定の検討も必要。

私の目指す生徒会

私は、一人でも多くの方が学校生活を楽しいと思えるような学校を目指して、生徒会長になりました。三朝中学校にはいろんな人がいて、勉学に励む人や部活動に力を入れる人、または友人との会話であったり先生との会話を楽しみにしている人などがいます。しかし、なかには不満があったり、辛い思いをして楽しさを感じることができない人もいます。私は、三朝中の生徒の一人でも多くの方が学校を楽しいと思えるようにしたいと思っています。それは、私が2年間三朝中で過ごしてきた楽しかったことも嫌だったことも、いろんな経験をしてきたからです。中学生になり、今までと全く違う環境下でさまざまな変化を乗り越え今があります。この中学校生活を終えるときに色々あったけど楽しかったと総括できるような学校生活を送りたい、またそう思える学校にしていけるために自分の力を全力で使いたいと思っています。

この目標を達成することは、私一人の力では到底できないことだと思っています。そのため私は、同

じょうな目標を持って集った執行部のメンバーと共に努力していきたいと思っています。そして執行部から生徒、そして先生方へと学校全体を巻き込んで三朝中学校が一丸となって目標に向けて進んでいきたいと思っています。そうするために私は、生徒ひとりひとりの意見を執行部に届けることのできるシステムを設け、自らの思いを生徒会活動に反映させられるようにしようと思っています。決して自分勝手な生徒会活動にしないように、様々な意見を取り入れながら活動していこうと思います。

三朝中学校生徒がこの1年間を楽しめる手助けを執行部、そして生徒会会長として全力でしていきたいと思っています。中学校生活の1年という大切な期間を生徒全員が大切にできる、そんな学校を目指して頑張っていきます。



三朝中学校3年
相澤柚希

議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは**議会事務局（電話43-3511）**にお問い合わせください。

6月定例会の日程予定（案）

会期 6月10日～6月18日
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- 町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- 町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- 議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 吉田 道明
編集 森 貴美子
議会広報常任委員会
委員長 小椋 泰志
副委員長 河村 明浩
委員 藤井 克孝
委員 吉村美穂子
委員 森 貴美子

（森 貴美子 記）

今年、選挙イヤーだ。7月に参議院選挙、10月には、町長・三朝町議会議員選挙が行われる。早いもので、議員生活も4年目に入った。町をより良くし、町民の皆さんの相談に耳を傾ける、議員の仕事はやりがいがある。近年、全国の町村議会で、議員のなり手不足が問題になっている。少子高齢化の影響で、子育て世代や若者の生の声は届きにくいのではないかと…。子育て世代の女性や若者たちが、地域づくり・町づくりに積極的に参加してほしい。そして、その中から「我」と思う方は、ぜひ立候補してほしいと願うばかりだ。

